

No.305, Verdor Tachikawa, 3-8-15, Takamatsu-Cho, Tachikawa-city, Tokyo Tel: 042-569-7263 Fax: 042-569-7264 www.a-wing.biz/



評価システムにおける進捗状況を下記の流れでご説明いたします。

ログイン画面

初期画面

シラバス設定画面

評価画面

教官コメント追記

結果画面

以上となります。









あなたの受講している科目名にチェックを入れ、下の登録ボタンを押して、左の登録ボタンを押してください。

Kyoto University School of Public Health
 教育評価システム
 京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻

#### 科目設定変更

金 月曜 1限目 火曜 1限目 水曜 2限目 木曜 1限目 金曜 1限目~2限目 【MPH必修(医療系以外)】 【MPH選択】 【MPH必修(MCR限定)】 【MPH選択必修】 【MPH選択】 【MCR推奨選択】 【知财選択必修】 【MCR推奨選択】 臨床研究コミュニケーション法 【MCR必修】 【GC·必修】 医療の経済評価 医学基礎Ⅱ 福原 疫学実習 基礎医療倫理学 (A) 福原 今中 小杉 (B) (C/D) (演習) (A) 月曜 2限目 火曜 2限目 水曜 2限目 木曜 1限目 金曜 3限目~4限目 【MPH必修(医療系以外)】 【GC限定必修】 【MPH必修】 【GC必修】 【MPH必修】 【MCR必修】 【MCR心修】 【知财選択必修】 【MPH選択】 遺伝カウンセラーのためのコミュニケーシ 医学基礎 I 医瘘統計学 遺伝医療と倫理・社会 ョン概論 疫学 萪頂 佐藤(俊) 小杉 浦尾 中山 (A) (A) (演習) (演習) (A) 月曜 3限目 火曜 3限目~4限目 水曜 3限目 木曜 2限目 金曜 3限目~5限目 【MPH選択】 【MPH選択】 【MPH選択必修】 【MPH選択必修】 【MCR限定】 環境衛生学 データ統合型研究 【MCR推導選択】 【MCR推避强択】 【MCR<sub>i</sub>込修】 【GC推奨】 医療統計学実習 医療評価と社会実験的研究 小泉 中山 社会疫学 I 〔先端〕 (B) 佐藤(俊) 今中 木原(雅) (演習) (C/D) 〔先端〕 月曜 4限目 火曜 3限目~4限目 水曜 3限目 木曜 2限目 金曜 5限目~6限目 【MPH選択】 【知财必修】 【GC必修】 【MPH選択必修】 【GC限定必修】 MOD. MART at the state of the 

登録する

開発中画面につき、納品とは異なる場合があります。

#### シラバス設定画面では、 左図の様な画面構成となります。

学生さんが受けている授業を 時間割から選んでチェックリストで チェックをして最後に

「登録」

します。 この段階で評価が可能になります。





# 評価画面(2)



評価画面(3)

1、シラバスに記載された学習目標が達成されるのに 十分な内容が提供されていた ●とてもそう思う ●そう思う ●とてもそう思う ●どちらとも言えない ●そう思う ●そう思わない ●どちらとも言えない ●全くそう思わない ●そう思わない ●あてはまらない ●全くそう思わない ●あてはまらない ●とてもそう思う 2、この授業の構成(授業の流れ、教員の配置、 ●そう思う 統一性等)は適切であった ●どちらとも言えない ●とてもそう思う ●そう思わない ●そう思う ●全くそう思わない ●どちらとも言えない ●そう思わない ●あてはまらない ●全くそう思わない 8. 説明がわかりやすかった ●あてはまらない ●とてもそう思う ●そう思う 3、この授業の内容の難易度は適切であった ●どちらとも言えない ●適切であった ●そう思わない ●どちらとも言えない ●易しすぎた ●全くそう思わない ●難しすぎた ●あてはまらない ●あてはまらない ●とてもそう思う 4、教育に対する熱意が感じられた ●そう思う ●とてもそう思う ●どちらとも言えない ●そう思う ●どちらとも言えない ●そう思わない ●全くそう思わない ●そう思わない ●あてはまらない ●全くそう思わない ●あてはまらない ●とてもそう思う 5、学生が積極的に授業に参加するように配慮されていた ●とてもそう思う ●そう思う ●どちらとも言えない ●そう思う ●どちらとも言えない ●そう思わない ●全くそう思わない ●そう思わない ●あてはまらない ●全くそう思わない ●あてはまらない

6、質問・要望が出しやすい状況が作られていた 11、学生を理解し尊重してくれた ●とてもそう思う ●そう思う ●どちらとも言えない ●そう思わない ●全くそう思わない ●あてはまらない 7、教材(スライド・プリント・OHP・ビデオ等)が効果的に使われていた 12、有益な知識・技術が得られた ●とてもそう思う ●そう思う ●どちらとも言えない ●そう思わない ●全くそう思わない ●あてはまらない 13、来年の学生にこの授業をすすめる(科目が必修、 選択に関わらずお答え下さい) ●とてもそう思う ●そう思う ●どちらとも言えない ●そう思わない ●全くそう思わない ●あてはまらない 9、この授業によって学習意欲/好奇心が刺激された この科の講義全体の評価は ●非常によかった ●よかった ●まあまあよかった ●どちらともいえない ●あまりよくなかった ●よくなかった 10、質問・レポート等に対し学生に適切なフィードバックがなされた ●非常によくなかった ●あてはまらない 今回の授業・実習に対するコメントを自由にお書きください



Kyoto University School of Public Health     京都大学大学院 医学研究科 社会健康医学系専攻	回答後画面では、 左図の様な画面構成となります。
ようこそ     林目を選んでください     ね目を選んでください     へルプを見る	回答した科目については 評価状況が
<ul> <li>選択した科目の評価を行ってください。</li> <li>基礎医療倫理学</li> </ul>	「回答済み」
【評価時間2010-04-01 ~ 2010-08-31 【評価状化回答済み ● 評価を行う	と変更になります。
医療統計学 【評価期間】2010-08-01 ~ 2010-08-31 【評価状況】 <del>末回答</del>	この評価状況を 各科目において
◆ 評価を行う 下 468974 1×34 -  下 468974 1×34 -  (2) -  (2) -  (2) -  (3) -  (3) -  (4) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5) -  (5)	「未回答」から「回答済み」
と 殊計画に上 天 大家の りりた 【評価時間】2010-08-01 ~ 2010-08-31 【評価状況】 <b>未回答</b> ◆ 評価を行う	へ変更することで、 視覚的にも分かりやすい設定と なっております
感染症疫学  【評価期間】2010-04-01 ~ 2010-08-31 【評価状況】未回答  ● 評価を行う	<i>なりて</i> のりより。
<b>臨床研究標論・方法論</b> 【評価期間2010-04-01 ~ 2010-08-31 【評価状況】 <del>末回答</del> ◆ 評価を行う	
◆ 科目設定変更	開発中画面につき、納品とは異なる場合があります。

## 教官によるコメント追記



コメント部分については、アンケート終了後、教官による追記期間を設け、学生側の一方的な評価にならないように工夫されています。 また、最終結果も、教官側は、13の設問、全体評価、コメント部分全てを共通で閲覧できますが、学生側には、全体評価とコメント 部分のみの閲覧とし、評価する側、される側に配慮したシステムとなっております。



【学生側】 結果の	<b>)</b> 一部公開	【教官側】全体公開
Kyoto University School of Public Health	Ψ.Δ Hotom (gabbares to ten b)	
#日名 21193年1月	H27/7F79	
「の表筆全体の評価は?		
学校名 スクマルニル・	900 E.0.220 11 / XIC00 E.0.200	
CONSTRUCTION MARIECONIC ARCENT	17/1309 5/0509 0/1009	
1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1         1 <th1< th=""> <th1< th=""> <th1< th=""> <th1< th=""></th1<></th1<></th1<></th1<>	C/V39	
#SD20-FURT REPRESENCEMENT SECTOR	rtenu.	
\$\$0_#\f	in na vitalinat.	
REPRINT 2010月前に増加が目的になって、これがくなかしたもたんが不らんとなったがあった。 、数学校がありまであったからなったしまたは、おからの時間は、ールンを見ないであった。 下きなかないたくお話がついながらまた。これは、特徴の時間ではなった。これではないであった。 できなかったり、日本語がついながらまた。これが、パンパンがないたかであった。これではないた。 できないたから、日本語がついながらまた。これが、日本語がありまた。これできないた。 になった。これで、日本語がないたまでありたり、日本語がありまた。これできたから、こ のかからからであるため。		
$eq:static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_static_stat$	ralignaurrann a' Machine an Treinnean an State an State an State an State an State an State and State and State N. T. 2017.	
に使いまでのために見て出く、またいがいたりパイトンコートンスは、小山、小山下方、と、小小の市につなり、ボルー 全山市・美国が特定されたいたけがたちになった。	in the second structure and the second structure and the second structure and	
ションロンのから上の時間の時間からはなったの時間の時間にだー」のついたが、「西面の時間のの時間には簡単する」 この時のになったこのからためが目的でした。そこのに注意の一ジットにのたちまたが上の時間のからであるので、 この時のになったりにいたないた。	NAME AND A CONTRACT OF A CONTRAC	
THE THE PARTY AND A THE PARTY OF A DESCRIPTION OF A DESCR	フィイ教育会社、科学校院会会でいくようにします。 一日	
第人が、ためと記書が行ったいためにない、年人にとられていたので開始、多人、ただいかに行われたとうでも、 した時、こだにたったが、対応でなりました。回転活動をつくためたしたかったいで、	プラス変化合体、連接発展させていくようロスをす。	and the second se
		And the second sec

先にも述べた通り、学生側と教官側で得られる情報が異なります。これは、評価される側である、教官に配慮したもので、 コメント追記と同様の考え方から機能に組み込んだシステムとなります。

### ありがとうございました。